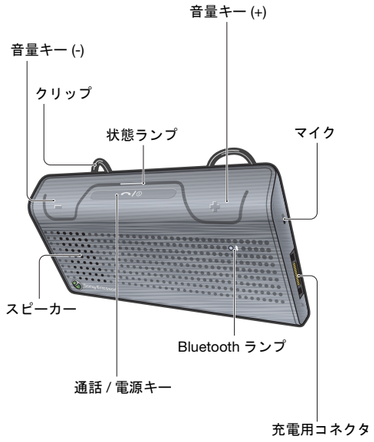
Sony Ericsson

User guide

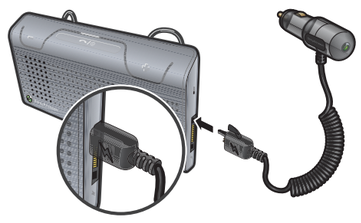
日本語

HCB-108

1



2



Declaration of conformity for HCB-108

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type DEA-0002007

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-17:V1.2.1, EN 301 489-7:V1.3.1 and EN 60 950-1:2006 following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Equipment directive **99/5/EC**.
Lund, June 2008

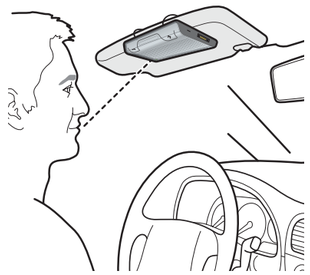
CE 0682

Jacob Sten, Head of Product Business Unit Accessories

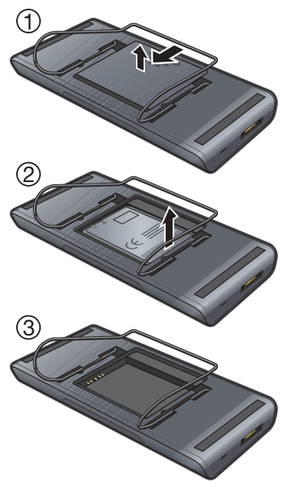
この製品は、R&TTE 条項（99/5/EC）の要件に適合しています。

3

4



5



FCC statement for the USA

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

日本語

ワイヤレススピーカーホン HCB-108 は、サンバイザーに取り付けて、車内ハンズフリー機能を使うことができます。HCB-108 は、ハンズフリーまたはヘッドセットプロファイル * に対応している Bluetooth 無線技術を備えた機器に接続できます。
(*) プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとの機能規格のことです。

充電

HCB-108 をはじめて使用する場合は、付属の充電器を使用して赤の状態ランプが緑に点灯するまで充電してください（約 10 時間）。図 1 および 2 を参照してください。視界の妨げになるので、運転中は充電器を HCB-108 に接続したままにしないでください。

電源のオンとオフ

通話 / 電源キーを 2 秒間長押しすると音が鳴ります。状態ランプが電源オンで点灯し、電源オフで消灯します。

ペアリング（登録）

HCB-108 を携帯電話で使用する前に、HCB-108 と携帯電話のペアリングが必要です。一度ペアリングすれば次回からペアリングする必要はありません。携帯電話の取扱説明書も参照してください。

HCB-108 と携帯電話をペアリングするには

お買い上げ後またはリセット後に、はじめて電源を入れるとペアリングモードが自動的にオンになり、Bluetooth ランプが青く点滅し、音が鳴ります。

1. 携帯電話を HCB-108 との通信範囲内 (10 メートル）に配置します。
2. HCB-108 : 通話 / 電源キーを 2 秒間長押しして電源をオンにします。
3. HCB-108：HCB-108 のペアリングモードがオンの場合は手順 4 に進みます。オフの場合は、音量キー (-) と (+) を同時に 2 秒間長押ししてペアリングモードをオンにします。図 3 を参照してください。
4. 携帯電話：Bluetooth 機能をオンにします。
5. 携帯電話：Bluetooth 検索 (探索) モードをオンにします。
6. 携帯電話：画面に表示された「HCB-108」を選択します。
7. 携帯電話：携帯電話にペアリングするかどうかの質問が表示されたら「はい」または「OK」を選択します。
8. 携帯電話：パスキー 0000 を入力します。

* パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードなどと表示される場合があります。

注
- HCB-108 では、別の携帯電話が接続されると、前のペアリング情報は失われます。
- 携帯電話とのペアリングが完了しない場合は、10 分後にペアリングモードがオフになります。

携帯電話との接続

HCB-108 をオンにすると最後に接続した携帯電話に自動的に接続にいき、そのとき携帯電話が接続待ち状態であれば自動的に接続されます。
HCB-108 がオンで未接続の状態で通話 / 電源キーを押しても最後に接続した携帯電話に接続にいきます。接続に成功すると Bluetooth ランプが点灯します。

車内に設置

サンバイザーに HCB-108 を取り付けます。図 4 を参照してください。

通話

HCB-108 と携帯電話が Bluetooth 接続されている間は、HCB-108 を使用して電話の着信応答、着信拒否、通話、終話、リダイヤルが可能です。

電話をかけるには

携帯電話のキーを使用して、通常通りに番号をダイヤルします。自動的に HCB-108 で通話できるようになります。発信後、自動的に通話できない場合は、HCB-108 の通話 / 電源キーを押すか、携帯電話を操作してください。携帯電話の操作方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください。

電話を切るには

通話中に、通話 / 電源キーを押します。

電話に出るには

着信中に、通話 / 電源キーを押します。

着信を拒否するには

着信中に、通話 / 電源キーを長押しします（約 2 秒間）。通話中の二つ目の電話の着信については、HCB-108 が自動的に拒否します。

最後にかけた電話番号にリダイヤルするには

通話 / 電源キーを 1 秒以内に 2 回押します。

マイクをオフ (消音) にするには

通話中に、両方の音量キーを同時に押します。マイクがオフになると、状態ランプが点滅します。マイクを再びオンにするには同じ動作を繰り返します。

ボイスダイヤルを使った通話

ボイスダイヤルについては、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音声の転送

音声を携帯電話から HCB-108 に転送するには

携帯電話で通話中に、接続中の HCB-108 の通話 / 電源キーを押します。音声が HCB-108 に転送されます。携帯電話を操作して音声を HCB-108 に転送する方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音声を HCB-108 から携帯電話に転送するには

携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音量の調節

着信の音量を調節するには

HCB-108 がオンで、電話をかけていないとき、または電話が鳴っているときに、音量キーを押します。

通話の音量を調整するには

通話中に、音量キーを押します。

HCB-108 のリセット

HCB-108 が正しく動作しない場合は、ハードウェアリセットまたは設定リセットを実行してください。

ハードウェアリセットを実行するには

通話 / 電源キーを 8 ～ 10 秒間長押しします。
HCB-108 はオフになります。

設定リセットを実行するには

1. HCB-108 をオンにします。
2. 音量キー (+) および (-) を同時に 2 秒間長押しします。Bluetooth ランプが青く点滅し、音が鳴ります。図 3 を参照してください。
3. 通話 / 電源キーおよび音量キー (+) を同時に 2 秒間長押しします。音が鳴り、HCB-108 はオフになり、出荷時の設定にリセットされます。

トラブルシューティング

携帯電話に接続できない

- HCB-108 が充電されていて、携帯電話との通信範囲内 (10 メートル）にあることを確認してください。
- 携帯電話で、Bluetooth 設定を確認してください。
- HCB-108 のペアリングをやり直してください。

HCB-108 が自動的にオフになる

- HCB-108 はオンした後、15 分以内に最後に接続した携帯電話接続できなかった場合に、自動的にオフになります。
- 電池が充電されているか確認して下さい。充電が必要な場合は、充電ランプが赤く点灯し、音が鳴ります。

電池の交換

1. ふたと電池を取りはずします。図 5 を参照してください。
2. 電池とふたを再度挿入します。

Sony Ericsson Mobile Communications AB
SE-221 88 Lund, Sweden

1215-1481.3
Printed in Country

This is the Internet version of the User guide. © Print only for private use.